

響け念仏 北の大地に 本願寺帯広別院だより

〒080-0803 帯広市東3条南5丁目3 TEL: 0155 (23) 3720
FAX: 0155 (21) 4989 発行人: 輪番・仲尾信博

別院ホームページ
http://www.betsuin.jp/ →

2023
(令和5)年
4月号



降誕会 5月21日(日) 10時本堂

降誕会は浄土真宗の宗祖である親鸞聖人のご誕生をお祝いする法要です。聖人は1173(承安3)年5月21日に京都でお生まれになり、生死出づべき道(迷い続けるこの身の解決)を求めて9歳のとき「明日ありとおもふ心のあだ桜 夜半にあらしの吹かぬものは」と詠み、出家されました。

聖人のご誕生があつたからこそ、私たちは本願念仏のみ教えに遇わさせていただけたのです。ご誕生をよろこび、お祝いをしましょう。

赤ちゃんが誕生されたら
帯広別院の初参式へ

生まれて初めて
お寺にお参りする
お祝いの式

5月21日(日) 9時半から本堂にて初参式を行います。ほとけの子の誕生は家族にとって尊い仏縁です。お子さん、お孫さんと一緒に参りください。



4月のご案内

月例布教 1日・2日・3日 13時半〈講堂〉

宗祖月忌法要 15日・16日 13時〈本堂〉

春季永代経法要 13日(木)～16日(日) 13時〈本堂〉



親鸞聖人御誕生
850
立教開宗
800

親鸞聖人御誕生 850年
立教開宗 800年
Joint Celebration 850th Anniversary of Shinran Shonin's Birth & 800th Anniversary of the Establishment of the Jodo Shinshu Teaching

法要期日 2023 (令和5) 年
【第1期】3/29(水)～4/3(月) 【第2期】4/10(月)～4/15(土) 【第3期】4/24(月)～4/29(土)
【第4期】5/6(土)～5/11(木) 【第5期】5/16(火)～5/21(日)

仏教婦人会 例会で桜餅づくり

ひな祭りの3月3日(金)。別院では仏教婦人会が10時から例会を開催しました。オンラインを含めて参加者は17名。皆さんは講堂でお勤めをした後、厨房に移動し、桜餅を作りました。「楽しいね」「なかなか難しいね」などと話しながらの、久しぶりの厨房での活動は、新年度への期待に心がはずむ行事となりました。



保育園で卒園式 子どもたちの歌声ひびく



さくら保育園の卒業式

3月11日(土)は竜谷保育園の鉄南保育園・藤花保育園・さくら保育園の卒園式でした。卒園生が『さよならほくたちのほいくえん』を歌つと、保護者から大きな拍手がわきました。担任の先生は、「コロナ以降、卒園式での歌を控えてきましたが、今年子どもたちの歌声を聴いていただくことができました」と喜んでいました。みんな4月からはピカピカの1年生ですね。大いなる未来へと、さらに羽ばたいてください。

東日本大震災 十三回忌法要

3月11日(土)、別院にて東日本大震災十三回忌法要をお勤めしました。ご法話では、「親鸞聖人は、お念仏は阿弥陀さまから私たちに与えられた願いであり、同時に、お念仏そのものが阿弥陀さまである、と受け取られています。お念仏申す私たちは、阿弥陀さまとともに生き、この世のいのちを終え、そのままお浄土へと還るのです。法要を通して、今一度、自らのいのちと向き合い、日々の暮らしの中でお念仏を称えていくことが大切です」とお話しがありました。



ご法話の様子

先意承問 せんいじょうもん

お釈迦さまのお言葉としてよく知られる「和顔愛語」には続きがあります。それは「先意承問」です。先に相手の気持ちを察して、相手のために何ができるか自分自身に問いたです、という意味です。◆和顔愛語と一緒に訳すと、「和やかな顔と、思いやりの言葉で人に接することで、相手の気持ちをいたわって、先に相手の気持ちを察して、相手のために何ができるかを考えて、自ら進んで、手を差し伸べていく」となります。◆私は自分のことしか考えていないかもしれません。そうではなく、自分より先に相手のことを考え、受け入れて共に歩むことが、今の世の中にはとても大切なのではないのでしょうか。すぐでなくても、いつかは共に歩んでいけたらいいですね。(渡邊)

「親鸞聖人御誕生850年 立教開宗800年慶讃法要」

を迎えるにあたり

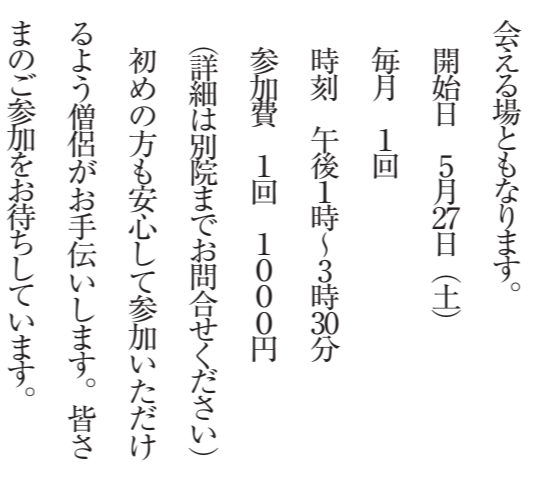
今年、親鸞聖人の誕生から850年、また来年は立教開宗800年にあたり、京都・本願寺では慶讃法要が始まりました。3月29日(水)から5月21日(日)までの5期30日間、全国から門信徒がご参りされます。

修念仏停止となり、親鸞聖人も越後へ流罪となります。赦免後は関東で念仏のみ教えを人々に伝えられました。

帯広別院からは5月9日(火)の法要に31名が団体参拝されます。親鸞聖人は平安時代末期の承安3(1173)年、京都は日野の里(京都市伏見区)で日野有範の長男として誕生されました。9歳の時に天台宗の慈円和尚のもとで出家得度。比叡山で修行しましたが、悟りに至る道を見出すことはできず、29歳の時、比叡山を下ります。法然聖人に出遇われて他力の教え、つまり阿弥陀如来の本願念仏の世界に入られました。約6年後、念仏宗は弾圧を受けて専

京都に戻られた親鸞聖人は主著となる『教行信証』の執筆を進め、膨大な経典を讀破して何度も筆を加え、元仁元(1224)年、52歳の年に草稿本を完成されました。この年を浄土真宗立教開宗の年としています。

和親聖人全教
徳念孫陀佛本願
日蓮即持入心定
唯能常稱如來名
原松大徳は松也



① 国宝 親鸞聖人影像(安城御影副本) (部分) (賛、裏書) 蓮如筆 京都 西本願寺 (3月25日～4月2日展示) ② 国宝 親鸞聖人影像(鏡御影) (部分) 覚如賛 専阿弥陀仏筆 京都 西本願寺 (5月2日～5月14日展示) ③ 国宝 三十六人家集(忠見集) 京都 西本願寺 (帖替あり、忠見集は5月2日～5月21日) ④ 桜花園 桜花園/松・藤花園のうち 望月玉泉筆 京都 東本願寺

「連研」参加者募集

10年余り活動を休止していた連研(門徒推進員養成連続研修会)を5月から再開することになりました。連研は、ご門徒の皆さんと僧侶が一緒に、仏教のみ教えを通して「私と社会の問題」などについて、ともに聞き、ともに語り合う法座です。

お互いの意見を「聞き合う」ことによって、答えの出なかった人生の問いや、お互いの思いを共有することができるとなり、人生の友に出会える場ともなります。

開始日 5月27日(土)
毎月 1回
時刻 午後1時～3時30分
参加費 1回 1000円

(詳細は別院までお問合せください)
初めの方も安心して参加いただけるよう僧侶がお手伝いします。皆さまのご参加をお待ちしています。

ご法話



お陰様

文：松原勝晃

新年を迎え、いよいよ春の陽気を感じるが増えてきました。新生活に「ころがはずむ子や、不安に感じる子もいるかもしれませんね。

ある方が「日本の教育は、他人に迷惑をかけてはいけないと教えることが多いと思います」と話されました。その方の国では「人は、他人に迷惑をかけるには生きていけない動物である」と教えるそうです。

「かげ」には影と陰があります。「影」は影絵のように形として「見えるかげ」を表します。「陰」は日陰のことで、目には「見えないかげ」を表すのです。私たちは、陰でたくさんの方に支えられています。私のいのちを考えると、目には見えない多くのいのちを頂いて生きています。ですから、自分一人の力で生きていると思ふことは少々傲慢のようです。たくさんの方の支えや多くのいのちに生かされているのです。

そう気付かせていただくと、私の口から「お陰様」が出てくるようになります。お陰様は、目に見えない「陰」のあたりに「お」を付けて丁寧にし、それでも足りず「様」まで付けているのです。それでも、目には見えない多くのいのちに支えられていることに、なかなか気付くことのできない私です。

新年度にあたり、ゆっくり手を合わせてみませんか。仏さまは「他人に迷惑をかけたって、大丈夫ですよ。迷惑をかけなければ生きてはいけない私なのですよ」と見ていてくださいます。

永代経懇志ご進納

(ご進納日 2月15日～3月14日)

『親鸞と浄土真宗 知れば知るほど』

第1章では、親鸞聖人の出生、法然上人との出会い、結婚、旧仏教界からの迫害、布教などの生涯と、その後の浄土真宗の発展などを解説。第2章では、浄土三部経の成立プロセス、阿彌陀如来の本願、妻帯、一念多念の考え方など、浄土真宗のみ教えを紹介。第3章は「浄土真宗門徒のしきたりと暮らし」と題し、ご本尊、お勤め、葬儀、お仏壇の飾り方、法事や年中行事などを収録。第4章では、浄土真宗の代表的な寺院を紹介。第5章は『仏説無量寿経』『教行信証』について解説しています。ご門徒なら知っておきたいことがこの一冊に記されています。(伊澤)

著者 山崎龍明
実業之日本社 刊/260頁
1650円(税込み)

4月 オススメの一冊



4月 オススメの一冊